

日本の川釣りを、 アプリで変えていきたい。

「人の手が入らないと、川は荒れてしまうんです。」
そう語るのは、株式会社フィッシュパスの西村さん。各地の内水面漁協は

川の整備に取り組んでいるが、その活動は「遊漁券」という川釣りチケットの
売り上げに支えられている。しかし、川釣りの朝は早いため
“遊漁券を買いたくても販売店が開いていない”“どこで買えるかわかりづらい”
という事情で、遊漁券無しで釣りをする人もいたという。そこで考案したのが、
遊漁券オンラインアプリ「FISH PASS」。釣り人はスマホで

遊漁券を買えるようになり、漁協は釣り人の情報を
確認できるようになる。事実、福井の竹田川漁協は
前年の約1.5倍の遊漁券売り上げを達成。
釣りの監視業務も大幅に効率化したという。
今後は釣り人に役立つお店などの情報を

アプリ内で発信するサービスも充実させ、川から地域を
盛り上げていく。日本には、1,000を超える河川がある。
全国の内水面漁協と連携し、釣り人が集まる美しい川を
日本中へ広める挑戦は始まったばかりだ。

農林水産業みらい基金は、助成金を通じて、
株式会社フィッシュパスのアプリ展開・運営をサポートしています。

ひろがれ！
みらいの
農ホ水

株式会社フィッシュパス
(福井県 全域)



一般社団法人
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA（農業協同組合）・
JF（漁業協同組合）・JForest（森林組合）グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraikikin.org/) 検索
<http://www.miraikikin.org/>

